

令和3年度 3月号



学校  
だより

横浜市立今宿小学校

<今宿小学校学校教育目標>

☆☆育てたい「いまじゆくの子」☆☆

- い ○いきいきとした心と体をつくる子 (体)
- ま ○学びをいかそうとする子 (知)
- じ ○自分とみんなを大切に作る子 (徳)
- ゆ ○ゆめをもち人の役に立とうとする子 (公)
- く ○くらしをよりよくしようとし世界に目を向ける子 (開)



今宿小学校  
WEB ページへ



## 肯定的な言葉で子どもを育てる

校長

先月配られた [PTA よこはま第169号](#)に「ペップトーク」が紹介されていました。実は、私の愚息が学生の時にこのペップトークの講演会を聞いてきて、興味を持った私は SNS 等でいろいろ調べたことがありました。

さて、なぜこのような話を切り出したかという、[学校評価アンケート](#)で「自分のことが好きですか」に対する児童の答えが3年連続70%止まりと伸び悩んでいるからです。そして、これは、学校の影響だけでこの回答率になっているとは考えにくいと思っています。

「自分のことが好き」という言葉を「自分は自分のままでいい」や「自分は必要とされている」と置き換えてみると分かると思うのですが、周囲からの言葉掛けが大きく影響していると考えられます。

周囲というのは、学校環境下では「友達」「先生」等、家庭環境下では「親」「兄弟姉妹」等、社会教育（スポーツ団体など）環境下では「コーチ」等に当たります。それらの環境下での言葉掛け、ありのままの自分を受け入れられる感情が十分に育まれていないのではないかと感じるのです。

では、このペップトークとは何かということ「肯定的な言葉を使い人の魂を揺さぶりその気にさせるトーク」ということです。具体的には「さぼるな」ではなく「しっかりやろう」、「ポケっとするな」ではなく「集中しよう」、「忘れ物するな」ではなく「持ち物確認した?」、「喧嘩するな」ではなく「仲よくしよう」としてほしいことを言語化することです。（本当はもう少し深い話です。ぜひ調べてみてください。）未来に向かって生きる子どもたちが「自分のことが好き」と答えられるように、学校、家庭、地域みんなで育てていきたいと、学校評価アンケートの結果から思いました。

今年度の様々なお支援、ご協力に心より感謝申し上げます。一年間、ありがとうございました。

今宿小学校放課後キッズクラブ金管バンドの演奏の様子を YouTube チャンネル「旭区学校音楽祭」(<https://www.youtube.com/watch?v=0sxHxmp2jSc>)で見られます。ぜひ、ご覧ください。

## たくさんの感謝と切なる願い

副校長

令和2年のはじめからコロナ禍における社会生活がはじまり、すでに2年が経っています。その間、分散登校やタブレット端末を使っての学習など、様々な新しい活動様式に取り組んできました。その都度、地域の方々や保護者の方々にご理解とご協力をいただきました。地域の見守りや家庭での学習支援などを通して、児童は安心安全に活動することができました。また、コロナウイルス感染拡大予防におきましては、毎日の健康観察を行い拡大防止に努めていただきました。たくさんのご支援に、あらためて感謝申し上げます。

令和4年度はどのような生活様式になるのでしょうか。きっと新たな価値観や取組が生まれてくることでしょう。変化に戸惑うことなく学校、地域、保護者が一体となり、新しい様式の時代をたくましく生きる子どもたちを育て、今宿の地域がより素敵な地域になっていくことを切に願っています。